

平成30年度

小浜市立加斗小学校

学校評価書

平成30年度小浜市立加斗小学校学校評価総合シート

項目	重点目標	具体的取組 (数値目標)	指標 回答者	判断基準 (アンケート項目)	成果 (○)・課題 (△)・改善策 (◇) / 学校関係者評価 (◎)
確かな学力づくり	◎考えを持ち、表現できる力の育成	・発表の時間と場の確保 (A+B>80%)	[取組] 教職員	Q: 単元毎にひとりしらべとみんなしらべの時間を設定することができましたか。 A そう思う 82% B やや思う 18% C あまり思わない 0% D 思わない 0% (100%)	△取組に対して成果が昨年度よりポイントを下げている。学校全体として、「教室は間違っていない場所」という意識は高まっていると思われるが、実際に自分の考えを発表する意欲と言動にはつながっていない。△ペアやグループでの話し合い活動をより多く取り入れ、まず、話すことに慣れ、全体での交流につなげていく必要がある。それを広く保護者に公開し、発表する姿を見ていただくことで満足度も上がっていく。
			[成果] 児童	Q: 授業中に、自分の考えを発表することができましたか。 A そう思う 57% B やや思う 30% C あまり思わない 11% D 思わない 2% (87%)	
			[満足度] 保護者	Q: お子さんは、自分の考えを伝えることができましたか。 A そう思う 39% B やや思う 55% C あまり思わない 4% D 思わない 2% (94%)	
	○学習意欲の向上と基礎・基本の定着	・基礎テスト(国算)の合格率の向上 (A+B>80%)	[取組] 教職員	Q: 児童が基礎テストで合格点を取れるように手立てを取れましたか。 A そう思う 64% B やや思う 36% C あまり思わない 0% D 思わない 0% (100%)	○取組に対して、成果のポイントが昨年度よりも上がっている。△満足度がポイントを下けているが、テスト結果を知らない保護者がいるために数値が下がっているのではないかと。◇普段の学習でも休み明けテストのように合格賞や満点賞のような形で保護者の目につくように、テスト結果を伝えていけるとよい。冬休み明け校内実力テストのように、学期ごとの基礎基本の定着を図るためのテストを、来年度も継続して行っていきたい。
			[成果] 児童	Q: 国語や算数の基礎テストで、毎回合格点を取ることができましたか。 A そう思う 46% B やや思う 39% C あまり思わない 8% D 思わない 7% (85%)	
			[満足度] 保護者	Q: お子さんの国語や算数の基礎的な力はついてきていると思いますか。 A そう思う 32% B やや思う 55% C あまり思わない 13% D 思わない 0% (87%)	
	○わかる・楽しい授業の工夫と改善	・1人2回以上の研究授業の実施 (A+B>80%)	[取組] 教職員	Q: 研究授業を2回以上実施することができましたか。 A そう思う 100% B やや思う 0% C あまり思わない 0% D 思わない 0% (100%)	△成果と満足度がポイントを下けている。◇めあてを明確にして、その達成に向かって授業を展開していくことと、授業後の振り返りを継続的に実施することで、児童の達成感を高めたいと思われ。また、授業参観では、「できる・わかる授業づくり」を心がけるとともに、TTや支援員等を活用し、個に応じた指導を実施している様子を見ていただくことで、保護者の理解をさらに得ていきたい。◎教頭と教務主任の負担が大きいので行事のさらなる精選が求められる。
			[成果] 児童	Q: 授業はよくわかりますか。 A そう思う 64% B やや思う 26% C あまり思わない 7% D 思わない 3% (90%)	
			[満足度] 保護者	Q: 授業を参観して、お子さんは授業内容をわかっていると思えますか。 A そう思う 36% B やや思う 55% C あまり思わない 9% D 思わない 0% (91%)	

項目	重点目標	具体的取組 (数値目標)	指標 回答者	判断基準 (アンケート項目)	成果 (○)・課題 (△)・改善策 (◇) / 学校関係者評価 (◎)
思いやりのある学級づくり	◎思いやりと協力の心を持つ子の育成	・失敗体験、成功体験、感動体験を道徳等と関連させ、人間としての生き方に迫らせる (A+B>80%)	[取組] 教職員	Q: 「気づき・考え・実行する」を意識して「健康・奉仕・交流活動」に取り組ませることができましたか。 A そう思う 46% B やや思う 55% C あまり思わない 0% D 思わない 0% (100%)	○成果・満足度ともに昨年度よりポイントが上がっている。縦割り活動をメインに据え、体育祭や色別遊び、みんな遊びなど、児童が主体となって計画し、実行していくことを行った結果、お互いに協力し、下級生に対して思いやりをもった行動をとれているといえる。◇児童主体の活動を、各種たよりやHPに載せるなどして、保護者の目にも見えるようにしていくとより活動を知ってもらうことができる。◎
			[成果] 児童	Q: 友達への思いやりと協力の気持ちを持って生活していますか。 A そう思う 74% B やや思う 23% C あまり思わない 0% D 思わない 3% (97%)	
			[満足度] 保護者	Q: お子さんは、思いやりや協力の心が育ってきていると思えますか。 A そう思う 49% B やや思う 47% C あまり思わない 4% D 思わない 0% (96%)	
	○のびのびと活動できる土壌づくり	・あいさつと気持ちの良い返事の励行 (A+B>80%)	[取組] 教職員	Q: 児童が気持ちの良いあいさつができるように指導できましたか。 A そう思う 73% B やや思う 27% C あまり思わない 0% D 思わない 0% (100%)	△成果・満足度はこの項目が一番低く、昨年度とも変化がない。教員に対してのあいさつはできる児童、できない児童がいる。教員に対してできていても、地域の方に対してのあいさつは小さいところもある。◇あいさつ運動を、高学年のリーダーを中心に進め、次第に全校活動に広げ、地域にも広げていく活動を進めていきたい。◎子どもたちは日頃から、地域住民にも気持ちの良い挨拶をしてくれている。
			[成果] 児童	Q: 友達や地域の人の笑顔であいさつができていますか。 A そう思う 74% B やや思う 21% C あまり思わない 2% D 思わない 3% (95%)	
			[満足度] 保護者	Q: お子さんは、家族や地域の人の笑顔であいさつをしていますか。 A そう思う 53% B やや思う 38% C あまり思わない 9% D 思わない 0% (91%)	
	○自他の人権を尊重する心の育成	・全校一斉人権教育デーの設置、学期1回以上 (A+B>80%)	[取組] 教職員	Q: 集会活動などで、児童が互いの人権を尊重するように指導できましたか。 A そう思う 73% B やや思う 27% C あまり思わない 0% D 思わない 0% (100%)	○満足度は昨年度よりポイントが上がっている。人権週間の取り組みや友達、色別遊びのいいところを見つけた活動を通して、友達や下級生、上級生を大切にしようとする気持ちが育ってきている。◇縦割り活動で培った協力・共感の心を、道徳や人権教育でより充実させていきたい。◎少人数学級から中学校で多人数になるなど自分の立ち位置を見極めることが難しい。小学校の頃から自主的自立的に考えて行動していく習慣が必要とされる。
			[成果] 児童	Q: 周りの人を大切にしようとしていますか。 A そう思う 92% B やや思う 6% C あまり思わない 0% D 思わない 2% (98%)	
			[満足度] 保護者	Q: お子さんは、周りの人を大切にしようとしていますか。 A そう思う 49% B やや思う 49% C あまり思わない 2% D 思わない 0% (98%)	

項目	重点目標	具体的取組 (数値目標)	指標 回答者	判断基準 (アンケート項目)	成果 (○)・課題 (△)・改善策 (◇) / 学校関係者評価 (◎)
健康な体づくり	◎おぼろしく挑戦する子の育成	・水泳、マラソン、なわとびへの取組 (A+B>80%)	[取組] 教職員	Q: 水泳やマラソン大会などでおぼろしく挑戦するよう指導できましたか。 A そう思う 82% B やや思う 18% C あまり思わない 0% D 思わない 0% (100%)	○取組指標・満足度ともに、100%を達成することができた。◇体育的行事を通して、粘り強く挑戦できる態度を養うために、個別の目標を具体的に、また少し努力をすれば届くところに設定することが大切だと考える。また、自分の上達が実感できるような練習カードや掲示物を工夫することで、努力する姿勢を維持できるのではないかと考える。◎各種体育的行事で子どもたちの頑張りや保護者も満足している様子が見える。
			[成果] 児童	Q: 水泳やマラソンなどの行事においておぼろしく取り組むことができましたか。 A そう思う 89% B やや思う 8% C あまり思わない 0% D 思わない 3% (97%)	
			[満足度] 保護者	Q: お子さんは、水泳やマラソンなどの行事においておぼろしく取り組んでいましたか。 A そう思う 70% B やや思う 30% C あまり思わない 0% D 思わない 0% (100%)	
	○運動能力の向上を目指す子の育成	・外遊びの奨励、業間活動の推進 (A+B>80%)	[取組] 教職員	Q: 外遊びや業間活動で子ども達に奨励することができましたか。 A そう思う 91% B やや思う 9% C あまり思わない 0% D 思わない 0% (100%)	○晴れた日の外遊びはどの学級も積極的に取り組むことができた。また、雨の日も、ラジオ体操を行うことで、体を動かすことができた。◇縦割り活動での色別遊びや、学級でのみんな遊びの様子もホームページを活用して保護者に発信していくことで、満足指標の向上をはかっていくとよいと考える。
			[成果] 児童	Q: 外遊びや業間活動に積極的に取り組めましたか。 A そう思う 70% B やや思う 23% C あまり思わない 3% D 思わない 3% (93%)	
			[満足度] 保護者	Q: お子さんは、外遊びや業間活動などを通じて、運動好きになってきていると思えますか。 A そう思う 55% B やや思う 34% C あまり思わない 9% D 思わない 2% (89%)	
	○望ましい食習慣の習得	・児童による家庭での月1回の食事づくり (A+B>80%)	[取組] 教職員	Q: 月1回の家庭での食事づくりを奨励することができましたか。 A そう思う 82% B やや思う 18% C あまり思わない 0% D 思わない 0% (100%)	○取組指標では100%を達成することができた。◇家庭での食事づくりには保護者の協力が不可欠である。児童と保護者の意識を高めるために、食のお手伝い日記に保護者からの一言の言葉を添えるのも良いかもしれない。ランチルームでの発表は、お互いのお手伝いの内容を知る良い機会なので、これからも継続していくとよい。
			[成果] 児童	Q: 月1回の食事づくりに取り組めましたか。 A そう思う 84% B やや思う 11% C あまり思わない 3% D 思わない 2% (95%)	
			[満足度] 保護者	Q: お子さんは、月1回の食事づくりに取り組んでいましたか。 A そう思う 62% B やや思う 30% C あまり思わない 4% D 思わない 4% (92%)	

項目	重点目標	具体的取組 (数値目標)	[指標] 回答者	判断基準 (アンケート項目)	成果 (○)・課題 (△)・改善策 (◇) / 学校関係者評価 (◎)
家庭・地域と共に歩む学校づくり	◎家庭と共に子どもを育てる	・学校・学級通信の発行 (月1回) (A+B>80%)	[取組] 教職員	Q: 月1回の各種たよりをだすことができましたか。 A そう思う 91% B やや思う 9% C あまり思わない 0% D 思わない 0% (100%)	○学校だよりは、写真を取り入れるなど、児童が興味を持ちやすい紙面になっていたと思う。◇児童の評価が目標に届かなかったため、引き続きお便りの内容の工夫や担任の先生から配付の際に説明をしていただくとういことと思われる。特に読んでほしいお便りは教室での掲示に工夫をするなど、教職員間での共通理解も必要。整理整頓が苦手な児童に対しては、お便りをお便りケースに片付けるよう地道に個別指導をする。 ○スウィッチオフ・ウィークについて、協力的な家庭が多い。児童も、意識して取り組んでいる。△児童、保護者の数値が昨年度より下がっているため、意識付けにもう少し工夫が必要と思われる。◇何よりも児童自身が気を付けるようになるために、取り組みにくい児童には個別に指導して、次回は頑張るよう励ます。また、年度はじめのPTA総会で、スウィッチオフ・ウィークの意義説明や協力のお礼やお願いをして、より浸透するようにする。 △希望はあっても、今年度は昨年度より研究会以外の出張も多かったため、旅費予算の関係で参加できない状況もあったかと思う。◎保小連絡会や小中連絡会で得た情報を全体で共有することはできた。◇今後とも、連絡会や研究会で得た情報を共有できるよう、職員会または研修会で報告する場を設ける。◎保育園でも自分で考えて選択しては行動する機会を意図的に設けるようにしている。
	○地域と共に子どもを育てる	・ノーメディアウィークの実施 (A+B>80%)	[取組] 教職員	Q: Switch Off ウィークを学期1回取り組ませることができましたか。 A そう思う 64% B やや思う 27% C あまり思わない 9% D 思わない 0% (91%)	
	○保・小・中の連携の推進	・連絡会の実施や参加の充実 (A+B>80%)	[取組] 児童	Q: スウィッチオフ・ウィークにきちんと取り組むことができましたか。 A そう思う 67% B やや思う 21% C あまり思わない 9% D 思わない 3% (88%)	
			[満足度] 保護者	Q: いろいろなおたよりを月1回以上読むことができましたか。 A そう思う 41% B やや思う 31% C あまり思わない 10% D 思わない 18% (72%)	
			[満足度] 保護者	Q: 各種たよりから学校の様子をつかすことができましたか。 A そう思う 41% B やや思う 55% C あまり思わない 4% D 思わない 0% (96%)	
			[取組] 教職員	Q: お子さんは、Switch Off ウィークにきちんと取り組んでいましたか。 A そう思う 55% B やや思う 32% C あまり思わない 13% D 思わない 0% (87%)	
			[取組] 教職員	Q: 保育園や中学校、他の小学校での研究会などに参加することができましたか。 A そう思う 55% B やや思う 27% C あまり思わない 9% D 思わない 9% (82%)	

## 平成30年度 学校評価について

### 1 方針

- ・スクールプランに掲げた重点目標および具体的取組について評価する。(次頁「学校評価総合シート」参照)
- ・教職員、児童、保護者を対象にそれぞれアンケートを実施する。(アンケート用紙は分けて作成する。)
- ・アンケート結果をもとに、成果・課題・改善策(案)を各担当で考え、「自己評価」としてまとめる。
- ・2月3日実施予定の「家庭・地域・学校協議会」において、「自己評価」を提示し、委員から出された意見を参考に改善策を修正し、出された意見は「学校関係者評価」とする。
- ・「自己評価」「学校関係者評価」を合わせたものを、「学校評価書」として市教委に提出し、「学校評価総合シート」をホームページに掲載する。

### 2 日程

(教職員対象アンケート) 平成30年12月3日(月)～5日(水)  
(児童対象アンケート) 平成30年12月3日(月)～7日(金)  
(保護者対象アンケート) 平成30年12月3日(月)～7日(金)

### 3 実施後の処理方法

- ・アンケートの集計は校長が行う。～12月16日(日)
- ・目標未達成の項目を中心に、成果・課題・改善策(案)をまとめ、結果を入力する。
- ・入力先 teachers - 平成30年度 - 管理 - 運営 - 1B11 学校評価 - 平成30年度小浜市立加斗小学校学校評価総合シート(集計結果入り) 1月7日(月)～1月18日(金)

項目	担当者 (○がチーフ)
確かな学力づくり	○石橋、羽生、池田
思いやりのある学級づくり	○木橋、平井、中澤
健康な体づくり	○中森、林、中澤
家庭・地域と共に歩む学校づくり	○教頭、出口、校長

### 平成30年度 小浜市立加斗小学校スクールプラン

**<めざす学校の姿>**

『開学によって』安全安心な環境のもと、得意な分野を中心に、生き抜く力をつけることができる学校。  
『保護者によって』常に子どもたちを中心に考えて、励し、子どもたちの成長ぶりに満足できる学校。  
『児童によって』ネットワークをまかして支え合い、将来を担う子どもたちの姿に大いに期待できる学校。  
『教職員によって』自己研鑽とOJTにより力量を高め、仕事を通じて人間力を高めることができる学校。

**<めざす子どもの姿>**

◇知 よく考え、問題を解決しようとする子。  
◇儀 相手の立場に立って考える子。  
◇体 工夫して、ねばり強く挑戦する子。

**<教育目標>**

『考える力の育成』  
『考える力の育成』  
『つながり合い、高め合う子どもの育成』

**<めざす教職員の姿>**

・本気で子どもをかわいがる教職員。  
・自己研鑽に励み、日々改善を目指す教職員。  
・地域での役割も果たし、信頼される教職員。

**確かな学力づくり**

◎考えを持ち、表現できる力の育成。  
○学習意欲の向上と基礎・基本の定着。  
○わかる・楽しい授業の工夫と改善。

**思いやりのある学級づくり**

◎思いやりと協力の心を持つ子の育成。  
○のびのびと活動できる土壌づくり。  
○自他の人権を尊重する心の育成。

**健康な体づくり**

◎ねばり強く挑戦する子の育成。  
○運動能力の向上を目指す子の育成。  
○望ましい食習慣の習得。

**家庭・地域と共に歩む学校づくり**

◎家庭と共に子どもを育てる。  
○地域と共に子どもを育てる。  
○保・小・中の連携の推進。

①ひとり調べをもとに、みんなで繰り返す授業の推進。  
◆発表の時間と場の確保。  
・繰り返すことができる授業展開の工夫。  
②考えるための基盤づくり。  
・学習ルールの定着と読書活動の充実。  
◆基礎テスト(国算)の合格率の向上。  
③考えを引き出す授業展開の工夫。  
・切り返し(質問)のスキルアップ。  
◆1人2回以上の研究授業の実施。

**<◆数値目標>**  
①80% ②80% ③80%。

①JRC活動推進校としての取組。  
◆「気づき・考え・実行する」態度目標の「健康・奉仕・交流活動」。  
②あいさつ運動の推進。  
◆あいさつと気持ちの良い返事の励行。  
③人権を尊重し合う子の育成。  
◆全校一斉人権教育デーの設定。  
・朝礼での人権講話(各学期)。  
・拉致問題に関する理解促進。

**<◆数値目標>**  
①80% ②80% ③80%。

①如法スリッパ・ウェアアップ作戦の展開。  
◆水泳、加斗健康ウォーク、マラソン、なわとびへの取組。  
②子どもたちの運動量の充実。  
◆外遊びの奨励、業間活動の推進。  
③食の教育を通じた食習慣の定着。  
・給食時間を活用した食の指導。  
◆児童による家庭での月1回の食事づくり。

**<◆数値目標>**  
①80% ②80% ③80%。

①学校の情報公開の充実。  
◆学校・学級通信の発行(月1回)。  
・学校ホームページの適宜更新。  
・学校公開日の活用(年4回以上)。  
②親子で学び・実践する機会の設定。  
・障害者スポーツ親子体験教室の実施(2回)。  
・親子奉仕作業、資源回収の実施(3回)。  
◆Switch Off ウィークの実施。  
③保・小・中の連携の充実。  
◆連絡会の実施や参加の充実。

**<◆数値目標>**  
①80% ②80% ③80%。